



平成24年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月11日

上場会社名 株式会社レイ 上場取引所 大
 コード番号 4317 URL <http://www.ray.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)分部 至郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)中村 準三 (TEL)03(5410)3861
 四半期報告書提出予定日 平成24年1月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第3四半期の連結業績(平成23年3月1日～平成23年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第3四半期	6,704	5.1	558	1.4	514	1.6	214	△22.4
23年2月期第3四半期	6,379	19.0	550	757.7	506	—	276	573.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第3四半期	16 86	—
23年2月期第3四半期	21 72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年2月期第3四半期	6,983	2,172	30.6	167 74
23年2月期	4,574	2,009	43.2	155 07

(参考) 自己資本 24年2月期第3四半期 2,136百万円 23年2月期 1,975百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	—	0 00	—	4 00	4 00
24年2月期	—	0 00	—	—	—
24年2月期(予想)	—	—	—	2 00	2 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成24年2月期の連結業績予想(平成23年3月1日～平成24年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,400	△0.4	440	△22.9	375	△26.4	105	△64.5	8 24

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 一社 ()、除外 一社 ()

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年2月期3Q	14,328,976株	23年2月期	14,328,976株
24年2月期3Q	1,591,827株	23年2月期	1,591,767株
24年2月期3Q	12,737,207株	23年2月期3Q	12,737,267株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第3四半期連結累計期間】	7
【第3四半期連結会計期間】	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
4. 補足情報	14
(1) 制作、受注及び販売の状況	14

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により落ち込んだ企業の生産活動等は、震災復興需要やサプライチェーンの復旧等により回復傾向にあったものの、円高の長期化やタイの洪水被害、欧州の債務危機等の影響により企業収益の悪化や海外経済の低迷が懸念される等、引き続き景気の先行き不透明感が拭えない状況となっております。

当社グループの主要な市場である広告業界におきましても、震災直後の状況からは、緩やかな回復傾向が見られているものの、上述のような経済環境の影響により、本格的な回復にはいたっておらず、景気動向の影響を早々に受けやすい市場環境でもあることから、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済、市場環境のもと、当社グループの第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は6,704百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益は558百万円（同1.4%増）、経常利益は514百万円（同1.6%増）となりましたが、四半期純利益は、第1四半期連結会計期間に資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額、第2四半期連結会計期間に過年度著作権使用料の特別損失を計上したこと等により、214百万円（同22.4%減）となりました。

また、事業の集約化及び業務の効率性向上のため、平成23年11月に自社ビル建設用地として、東京都港区に土地を取得いたしました。このことは、将来的に当社グループの売上及び収益向上に寄与するものと考えております。

当社グループのセグメントの業績は次のとおりであります。

広告ソリューション事業におきましては、TVCM部門は安定した受注が継続しており堅調に推移しているものの、SP（セールスプロモーション）・イベント部門におきましては震災直後の事業環境からは一定の回復が見られてきておりますが、厳しいコスト環境の影響を受け低調に推移いたしました。

この結果、広告ソリューション事業は売上高3,158百万円（同9.5%増）、営業利益225百万円（同22.4%減）となりました。

テクニカルソリューション事業におきましては、ポストプロダクション部門はDVD関連業務が苦戦いたしました。スタジオ編集業務を中心に引き続き堅調に推移いたしました。また、第2四半期までは苦戦していた映像機器レンタル部門は受注が堅調に推移し、大型コンサート案件の受注等もあり業績の回復が見られました。

この結果、テクニカルソリューション事業は売上高3,546百万円（同1.5%増）、営業利益は652百万円（同16.1%増）となりました。

（注）第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しており、マネジメントアプローチに基づく報告セグメントの区分に変更しております。しかし、セグメント情報の区分に変更はないため対前年同四半期比を記載しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の状況

（資産）

流動資産は前連結会計年度末に比べて36.8%増加し4,775百万円となりました。これは主に、その他流動資産が40百万円、繰延税金資産が36百万円減少したものの、現金及び預金が1,000百万円、売掛金が193百万円、たな卸資産が114百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べて103.9%増加し2,207百万円となりました。これは主に、長期前払費用が27百万円減少したものの、自社ビル建設用地の取得等により有形固定資産が1,176百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて52.7%増加し6,983百万円となりました。

（負債）

流動負債は前連結会計年度末に比べて32.5%増加し3,266百万円となりました。これは主に、賞与引当金が84百万円減少したものの、短期借入金が400百万円、1年内返済予定の長期借入金が216百万円、買掛金が189百万円増加したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べて1,432.0%増加し1,544百万円となりました。これは長期借入金が1,337百万円、長期リース債務が75百万円、その他固定負債が30百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて87.5%増加し4,810百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて8.1%増加し2,172百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上214百万円により増加したものの、配当により50百万円減少し利益剰余金が163百万円増加したことによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度末に比べて1,000百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末は1,738百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は442百万円(前年同期比8.8%増)となりました。

これは主に、売上債権の増加額が228百万円、たな卸資産の増加額が114百万円、法人税等の支払額が152百万円ありましたが、税金等調整前四半期純利益429百万円及び減価償却費201百万円の計上、仕入債務の増加額189百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,295百万円(前年同期比1,150.1%増)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出1,263百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は1,854百万円(前年同期は67百万円の使用)となりました。

これは主に、リース債務の返済による支出49百万円がありましたが、長短借入金の借入額(純額)1,954百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年2月期の通期の連結業績予想につきましては、平成23年10月5日に公表しました業績予想に変更はありません。

※ 上記予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している有形固定資産の減価償却については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法によっております。

③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は705千円、税金等調整前四半期純利益は25,385千円減少しております。

② 表示方法の変更

（四半期連結損益計算書）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,738,297	737,807
受取手形	182,613	131,043
売掛金	2,287,221	2,093,354
たな卸資産	400,022	285,883
繰延税金資産	33,405	70,164
前払費用	103,789	93,898
その他	50,227	90,324
貸倒引当金	△19,880	△10,423
流動資産合計	4,775,697	3,492,051
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	308,658	294,686
減価償却累計額	△199,424	△177,971
建物及び構築物 (純額)	109,234	116,714
機械装置及び運搬具	968,817	896,186
減価償却累計額	△605,854	△502,692
機械装置及び運搬具 (純額)	362,962	393,493
工具、器具及び備品	265,261	246,362
減価償却累計額	△201,080	△174,248
工具、器具及び備品 (純額)	64,180	72,113
土地	1,109,883	332
リース資産	355,546	196,386
減価償却累計額	△101,668	△53,318
リース資産 (純額)	253,877	143,067
建設仮勘定	1,642	—
有形固定資産合計	1,901,781	725,721
無形固定資産		
ソフトウェア	25,340	29,262
その他	7,840	7,851
無形固定資産合計	33,181	37,113
投資その他の資産		
投資有価証券	43,334	48,620
出資金	25,481	31,606
長期貸付金	5,018	5,038
破産更生債権等	60,004	78,984
長期前払費用	407	28,092
敷金及び保証金	188,583	189,216
繰延税金資産	13,969	21,345
その他	900	900
貸倒引当金	△65,023	△84,022
投資その他の資産合計	272,676	319,781
固定資産合計	2,207,638	1,082,616
資産合計	6,983,336	4,574,668

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,060,790	871,167
短期借入金	1,300,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	221,100	4,174
リース債務	93,199	51,269
未払法人税等	120,603	93,378
賞与引当金	82,054	166,641
未払金	208,946	228,022
未払消費税等	40,840	37,531
未払費用	55,996	77,110
預り金	44,891	12,862
その他	37,998	22,218
流動負債合計	3,266,421	2,464,375
固定負債		
長期借入金	1,337,234	—
リース債務	176,114	100,788
その他	30,766	—
固定負債合計	1,544,114	100,788
負債合計	4,810,536	2,565,163
純資産の部		
株主資本		
資本金	471,143	471,143
資本剰余金	472,806	472,806
利益剰余金	1,469,406	1,305,633
自己株式	△273,691	△273,684
株主資本合計	2,139,664	1,975,898
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,189	△718
評価・換算差額等合計	△3,189	△718
新株予約権	36,326	34,324
純資産合計	2,172,800	2,009,504
負債純資産合計	6,983,336	4,574,668

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
売上高	6,379,395	6,704,996
売上原価	4,299,386	4,536,623
売上総利益	2,080,009	2,168,372
販売費及び一般管理費	1,529,206	1,609,742
営業利益	550,802	558,630
営業外収益		
受取利息	93	54
受取配当金	1,540	1,661
その他	1,041	5,059
営業外収益合計	2,675	6,775
営業外費用		
支払利息	20,234	18,998
出資金運用損	17,926	28,567
その他	8,549	3,063
営業外費用合計	46,709	50,629
経常利益	506,768	514,776
特別利益		
有形固定資産売却益	—	232
保険解約返戻金	24,212	—
貸倒引当金戻入額	2,179	2,881
特別利益合計	26,392	3,113
特別損失		
有形固定資産売却損	—	183
有形固定資産除却損	1,442	516
投資有価証券売却損	743	—
出資金評価損	7,410	—
過年度損益修正損	13,385	—
過年度著作権使用料	—	62,540
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	24,679
特別損失合計	22,981	87,920
税金等調整前四半期純利益	510,179	429,969
法人税、住民税及び事業税	189,796	170,863
法人税等調整額	43,760	44,384
法人税等合計	233,557	215,247
少数株主損益調整前四半期純利益	—	214,721
四半期純利益	276,622	214,721

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)
売上高	2,606,411	2,604,092
売上原価	1,725,220	1,713,096
売上総利益	881,191	890,995
販売費及び一般管理費	524,334	569,253
営業利益	356,857	321,742
営業外収益		
受取利息	—	0
受取配当金	35	10
出資金運用益	—	2,773
その他	109	825
営業外収益合計	144	3,610
営業外費用		
支払利息	6,543	6,822
出資金運用損	2,012	—
その他	2,924	413
営業外費用合計	11,480	7,235
経常利益	345,521	318,117
特別利益		
有形固定資産売却益	—	83
保険解約返戻金	24,212	—
貸倒引当金戻入額	—	1,363
特別利益合計	24,212	1,447
特別損失		
出資金評価損	2,310	—
過年度損益修正損	13,385	—
特別損失合計	15,695	—
税金等調整前四半期純利益	354,038	319,564
法人税、住民税及び事業税	137,493	119,971
法人税等調整額	18,874	18,549
法人税等合計	156,367	138,521
少数株主損益調整前四半期純利益	—	181,043
四半期純利益	197,670	181,043

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	510,179	429,969
減価償却費	125,670	201,146
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	24,679
長期前払費用償却額	1,871	1,857
株式報酬費用	6,570	2,001
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,817	△9,542
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△54,330	△84,587
受取利息及び受取配当金	△1,633	△1,716
支払利息	20,234	18,998
出資金運用損益 (△は益)	17,926	28,567
保険解約損益 (△は益)	△24,212	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△48
有形固定資産除却損	1,442	516
投資有価証券評価損益 (△は益)	6,503	2,299
投資有価証券売却損益 (△は益)	743	△13
出資金評価損	7,410	—
過年度損益修正損益 (△は益)	13,385	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△194,602	△228,175
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△107,904	△114,139
長期前払費用の増減額 (△は増加)	—	26,478
仕入債務の増減額 (△は減少)	134,994	189,622
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	12,647	49,150
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△45,121	73,943
その他	1,057	△245
小計	428,012	610,764
利息及び配当金の受取額	1,633	1,716
利息の支払額	△20,887	△17,421
保険解約返戻金の受取額	24,212	—
法人税等の支払額	△50,956	△152,892
法人税等の還付額	24,312	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	406,327	442,166
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△79,206	△1,263,309
有形固定資産の売却による収入	—	2,706
ソフトウェアの取得による支出	△12,689	△6,576
出資金の払込による支出	△36,000	△35,771
出資金の回収による収入	21,945	6,460
その他	2,281	541
投資活動によるキャッシュ・フロー	△103,668	△1,295,948

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	5,600,000	5,680,000
短期借入金の返済による支出	△5,600,000	△5,280,000
リース債務の返済による支出	△30,285	△49,965
長期借入れによる収入	—	1,600,000
長期借入金の返済による支出	△12,498	△45,840
自己株式の取得による支出	△4	△6
配当金の支払額	△24,920	△49,915
財務活動によるキャッシュ・フロー	△67,708	1,854,272
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	234,950	1,000,489
現金及び現金同等物の期首残高	1,435,416	737,807
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,670,367	1,738,297

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日)

	広告ソリューション事業 (千円)	テクニカルソリューション事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,210,877	1,395,534	2,606,411	—	2,606,411
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	102	119,443	119,546	(119,546)	—
計	1,210,980	1,514,977	2,725,957	(119,546)	2,606,411
営業利益	210,271	249,228	459,500	(102,643)	356,857

(注) 1 事業区分の方法

事業は取扱品目の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な事業内容

事業区分	主要事業内容
広告ソリューション事業	映像を中心とした企画制作、コマーシャル制作
テクニカルソリューション事業	デジタル映像機材を駆使した演出、各種映像のデジタル加工

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)

	広告ソリューション事業 (千円)	テクニカルソリューション事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,884,178	3,495,217	6,379,395	—	6,379,395
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,742	244,648	248,390	(248,390)	—
計	2,887,920	3,739,866	6,627,786	(248,390)	6,379,395
営業利益	290,091	562,230	852,321	(301,519)	550,802

(注) 1 事業区分の方法

事業は取扱品目の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な事業内容

事業区分	主要事業内容
広告ソリューション事業	映像を中心とした企画制作、コマーシャル制作
テクニカルソリューション事業	デジタル映像機材を駆使した演出、各種映像のデジタル加工

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日)及び前第3四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日)及び前第3四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、サービス等の類似性を考慮して、「広告ソリューション事業」及び「テクニカルソリューション事業」の2つを報告セグメントとしております。

「広告ソリューション事業」は、キャンペーンやイベント、展示会、テレビコマーシャル等の企画制作をしております。「テクニカルソリューション事業」は、デジタル映像機材を駆使した演出技術・映像加工技術を提供しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	広告ソリューション事業	テクニカルソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,158,803	3,546,192	6,704,996	—	6,704,996
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,793	290,944	293,738	△293,738	—
計	3,161,597	3,837,137	6,998,734	△293,738	6,704,996
セグメント利益	225,038	652,677	877,715	△319,084	558,630

(注) 1 セグメント利益の調整額△319,084千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結会計期間(自 平成23年9月1日 至 平成23年11月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	広告ソリューション事業	テクニカルソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,016,151	1,587,941	2,604,092	—	2,604,092
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,450	78,887	80,337	△80,337	—
計	1,017,601	1,666,828	2,684,429	△80,337	2,604,092
セグメント利益	70,973	357,809	428,783	△107,040	321,742

(注) 1 セグメント利益の調整額△107,040千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 制作、受注及び販売の状況

① 制作実績

当第3四半期連結累計期間における制作実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額(千円)	前年同四半期比(%)
広告ソリューション事業	2,155,772	23.9
テクニカルソリューション事業	2,490,596	△6.7
合計	4,646,368	5.4

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 金額は、総製造費用によっております。
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 4 第1四半期連結会計期間より、マネジメントアプローチに基づく報告セグメントの区分に変更しておりますが、セグメント情報の区分に変更はないため、対前年同四半期比を記載しております。

② 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
広告ソリューション事業	3,483,608	16.5	1,448,261	40.2
テクニカルソリューション事業	3,668,232	2.3	538,714	15.8
合計	7,151,840	8.8	1,986,976	32.6

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3 第1四半期連結会計期間より、マネジメントアプローチに基づく報告セグメントの区分に変更しておりますが、セグメント情報の区分に変更はないため、対前年同四半期比を記載しております。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
広告ソリューション事業	3,158,803	9.5
テクニカルソリューション事業	3,546,192	1.5
合計	6,704,996	5.1

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 第1四半期連結会計期間より、マネジメントアプローチに基づく報告セグメントの区分に変更しておりますが、セグメント情報の区分に変更はないため、対前年同四半期比を記載しております。